

## 市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和 4 年 5 月 10 日(火) PM 4:00 ~PM 5:30
会	場	第 3 委員会室、議場
出席	議員	総務委員会(小形委員長、片粕、城戸、近藤、砂田、加藤)
参加者	(市民)	仁愛大学生 6 名(男性: 1 名、女性: 5 名)
開会挨拶・ 司会・報告・記録		挨拶: 小形委員長
		司会: 小形委員長、 ファシリテーター(進行): 升田仁愛大学准教授 記録、報告: 加藤
【1部】 問題提起		<p>テーマ:なぜ若者は選挙に行かないのか。どうしたらよいか。          &lt;①投票へ行く気がしなくなる&gt;          議員:投票の重要性が受け止められていない。          学生:自分ひとりが選挙に行かなくても結果は変わらない。          学生:優先度が低い。今は就活に時間を充てたい。          議員:楽しくない。陰気臭い。小さいころから、親の影響もあり最初に投票に行かないとそうになってしまう。          学生:家庭の影響は大きい。          学生:だれに投票しても同じという感じがする。自分が一票投じても価値がないと思う。高齢者が多くいて、若者が入れてもなと感じる。          議員:以前からの投票率データが残っている。20代は10%台と低かった。60歳代が多かった。50年以上前に70年安保があり当時の学生は人生をかけて政治問題を問う意識が高かった。今、平和で選挙に行く責任を感じる若者は少ない。          学生:一票は大事だからこそ、よくわからない自分が投票するのは怖い。</p> <p>&lt;②考えるのが面倒になってしまうのはなぜか&gt;          議員:根本的なことをわかっていない。投票を一度やめたら次もやめる。一票の重みや格差のことなど理解してほしい。          進行:なぜ、理解しようとしなくて、何が邪魔しているのか?          学生:魅力を感じる人、共感できる人が大人全体の中にいない。          学生:小さいときから、身近に感じてこなかった。一人ひとりの違いがわからない。一覧表で見やすくしてくれたらわかりやすくなる。          進行:国政選挙ではマトリックスがあるが。          議員:選挙公報があり、全世帯に配られる。それを見ればわかる。教育の中で、愛国心を育むことなど抜けている。生活と政治の密接性がわかっていないのでは。今年からは公共の授業の中</p>

	<p>でやっていく。</p> <p>進行:このあと小グループに分かれて、課題を設定したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 政治と選挙を身近に感じてもらうにはどうしたらよいか。</li> <li>2. 政治と選挙について、知る機会を拡大するためにどうしたらよいか。</li> <li>3. 魅力的な大人とはどういう人なのか。どういう大人が増えたら選挙に関われるのか。</li> </ol>
<p>【2部】意見交換</p>	<p>●第一グループ</p> <p>学生:選挙に対する若者のリアリティ向上については、期日前投票を積極的に利用すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票ができる場所を、映画館などに置くのはどうか。</li> <li>・家族で、小さいころから投票に行くだけでも知識が入ってくる。</li> <li>・発信はしているが、情報が有権者に入っていない。</li> <li>・SNSが主流なので、少しでもSNS上でプロモーションをして目に入るように。</li> <li>・高校で公共の授業があるが、政治などの重要性にも力を入れた方がいい。</li> </ul> <p>●第二グループ</p> <p>学生:政治や選挙を身近に感じてもらうには、たとえば校則について考えると、厳しいだとか不満に思うので、こういったことが大人になったときに政治を考えてもらえるきっかけになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業やインターンシップなどの議員と話す機会を通じて政治や議会の内容を理解するのが大切。行って議員と話すことなども。</li> <li>・政治の仕組みなど知らないため。まず知識を付けて、関心につなげる。</li> </ul> <p>議員:市議会では議会モニター制度がある。1年間本会議など傍聴してもらい意見交換会をしている。</p> <p>学生:傍聴席に招待してもらい、実際話を聞けたらいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力発信していくことも大切。発信しているつもりでも届かないことが多い。SNSを通じて投票期間だけでなく、毎日の生活を発信してもらえると魅力は伝わると思う。</li> </ul> <p>進行:どんな人に魅力を感じるのか。共感を得るのか。</p> <p>学生:生き活きとしており、仕事も日常も楽しんでいる人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りに働きかけていく人、周りのために労を取ってくれる人 etc.</li> </ul> <p>* 別添付資料「主な問題点(越前市の若者・低投票率)メモ」参照</p> <p>●第三グループ</p> <p>学生:政治と選挙を身近に感じてもらうには、まず若者にもっと危機感</p>

	<p>をもってもらふこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の情報より、政治に関心がないとお金で損をするのは若者と いったような、もっと授業で他人事ではなく、こんな危機感があると教えて もらえたらよい。</li> <li>・将来大人になったら大変なことになると分かれば、政治や選挙が身 近に感じられると思う。</li> </ul> <p>進行: 困る、損をすることになると教えてもらったのか。</p> <p>学生: 大人の魅力について、議員が感じるのとギャップがあると感じ た。公約を見ただけでは、議員の人柄はわからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと議員が身近に感じられて、話したりできると魅力を感じるかも しれない。</li> </ul> <p>進行: そもそもコンタクトの機会がない。</p> <p>議員: 歯がゆい思いだ。最近では感染症のことがあるので。できたらもっ とこのような場を持ちたいのだが。</p> <p>学生: 学生が魅力的に思う人とは、話せる人、身近に感じる人。一方、 議員が思う魅力的な大人とは、公約がきちんとされているとか、私た ちの知らない部分で発信される方であることでギャップを感じた。</p> <p>進行: どういうのが若者の考えなのか。 わからない。</p> <p>学生: ありきたりでなく、違う角度から物事を見る。</p> <p>進行: 複眼的思考、多面的にもものを見る。一方向だけでないということ か。 ユーモアがあるというのは、大人だけでない、若者でも同じ。</p> <p>学生: 割引とか特典とかあったら、若者に投票に行きたい人が出てくる のではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと知識をつけた上で投票しないと意味ないが。</li> </ul> <p>進行: 今回は、問題点と課題をメインに論議 その後の対策までは時間の関係で話し合いができなかった * 別添付資料「主な問題点(越前市の若者・低投票率)メモ」参照</p> <p><b>【議員感想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、地元大学生との語る会という貴重な場を実現できうれしい。</li> <li>・得られた種々のアイデアや生の声を、今後の議会・議員活動に活 かしていきたい。</li> <li>・今後、議員側から大学に出向く機会を設定してはどうか提案したい。</li> </ul>
--	--

令和 4 年 5 月 17 日

越前市議会議長 川崎 俊之 様

総務委員会 委員長  
小形 善信